

Indicators Update

2012 年 1 月 25 日 全 11 頁

12 月貿易統計～輸出の足踏みで貿易赤字が継続

経済調査部 エコノミスト 長内 智

貿易赤字の改善ペースは緩慢なものとなろう

[要約]

- **【概況】輸出が3ヶ月連続のマイナス**：2011 年 12 月の貿易統計は、輸出の足踏みや貿易赤字の継続など、先行き不透明感が残る内容であった。輸出金額は前年比▲8.0%と3ヶ月連続のマイナスとなり、市場コンセンサスを下回った。輸入金額は、前年比+8.1%と24ヶ月連続のプラス。この結果、12月の貿易収支は▲2,051億円と3ヶ月連続の赤字となり、2011年通期の貿易収支は▲2兆4,927億円と第2次石油ショック後の1980年以来の赤字を記録した。
- **【地域・品目別動向（名目）】品目別は幅広くマイナス**：品目別の輸出金額では、大分類すべてがマイナスとなり、「電気機器」、「一般機械」、「化学製品」は弱含み傾向が続いた。輸入については、代替燃料の需要増加と価格高止まりを背景に、「液化天然ガス」の輸入金額と輸入数量が揃って大幅に増加した。主要国・地域別の輸出金額は、個人消費が底堅く推移している米国向けが2ヶ月連続のプラスとなった一方で、財政問題の緊張が続くEU向けと景気の減速感が顕在化してきたアジア向けが弱含んだ。
- **【今後の見通し】輸出は横ばい圏が続く**：輸出は、海外経済の減速が重石となり、引き続き横ばい圏で推移すると考える。欧州財政問題が一段と悪化しなければ、底堅く推移している米国経済や金融緩和姿勢を強めている新興国経済が支えとなり、日本の輸出も徐々に持ち直していくとみている。タイの大洪水の影響に関しては、当社のこれまでの見方どおり輸出全体への影響は深刻化・長期化しないと想定する。
- **【貿易収支のポイント】輸出サイドが当面の鍵**：貿易収支の先行きについては、輸入価格の高止まりと海外経済の減速による輸出鈍化を踏まえると、貿易赤字の改善ペースは引き続き緩慢なものに留まると予想する。震災後に貿易赤字幅が一旦縮小した後に再び赤字幅が拡大したのは、輸出の鈍化によるところが大きいことから、当社では、貿易赤字脱却の鍵は輸出サイドにあると考えている。

【概況】輸出が3ヶ月連続のマイナス

2011年通期は、31年振りの貿易赤字

2011年12月の貿易統計は、輸出の足踏みや貿易赤字の継続など、先行き不透明感が残る内容であった。輸出金額は前年比▲8.0%と3ヶ月連続のマイナスとなり、市場コンセンサス（同▲7.4%）を下回った。また、輸出金額の季節調整値（3ヶ月移動平均）が3ヶ月連続のマイナスとなっており、輸出の基調は弱い状況が続く。輸入金額は、資源価格の高止まりと原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加によって、前年比+8.1%と24ヶ月連続のプラスとなった。この結果、12月の貿易収支は▲2,051億円と3ヶ月連続の赤字となり、2011年通期の貿易収支は▲2兆4,927億円と第2次石油ショック後の1980年以来の赤字を記録した。また、輸入価格は、日本の資源輸入単価（輸入金額/輸入数量）が高止まりしている影響で、前年比+8.9%と高い伸びが続いた。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）～3ヶ月連続の貿易赤字

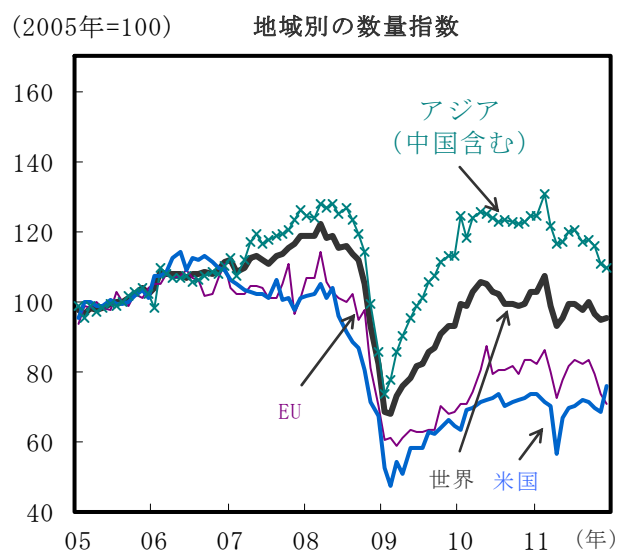
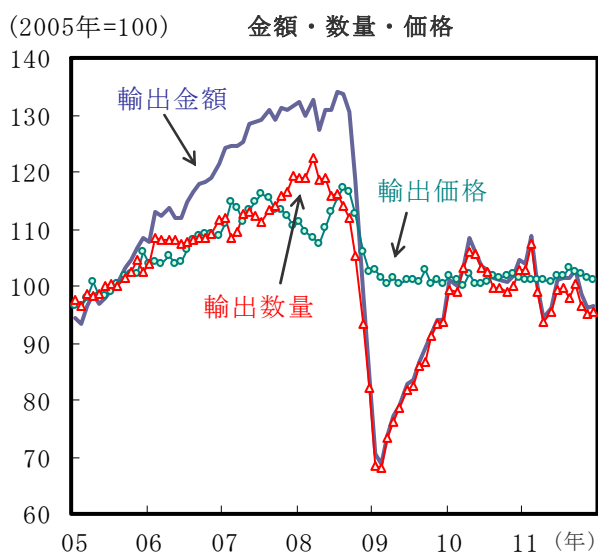
	2011年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出金額	1.4	9.0	▲2.3	▲12.4	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.3	▲3.8	▲4.5	▲8.0
コンセンサス												▲7.4
DIR予想												▲7.9
輸入金額	12.2	10.0	12.0	9.0	12.4	9.8	9.9	19.2	12.2	17.9	11.4	8.1
輸出数量	2.3	9.2	▲3.3	▲11.6	▲10.8	▲2.7	▲5.3	0.9	1.5	▲4.0	▲4.4	▲6.6
価格	▲0.9	▲0.2	1.0	▲0.9	0.5	1.1	2.0	1.9	0.9	0.2	▲0.1	▲1.5
輸入数量	11.2	4.9	5.5	1.3	5.5	1.7	▲2.6	6.0	1.0	6.0	▲1.0	▲0.7
価格	0.9	4.9	6.2	7.6	6.5	8.0	12.9	12.5	11.1	11.3	12.5	8.9
貿易収支	▲4,794	6,503	1,863	▲4,677	▲8,573	673	679	▲7,796	2,939	▲2,818	▲6,876	▲2,051

（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

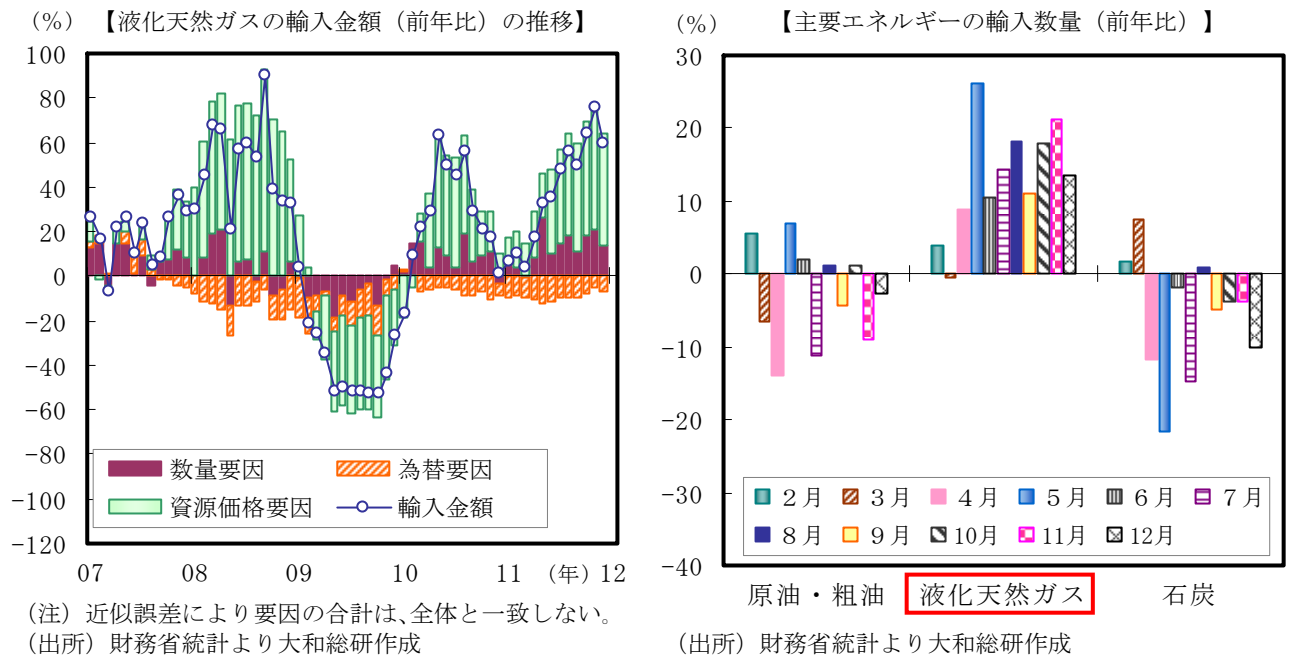
図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移（季節調整値）～米国向けは堅調



（注）季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

（出所）財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量（前年比）



【地域・品目別動向（名目）】品目別は幅広くマイナス

「電気機器」は10ヶ月連続のマイナス

品目別の輸出金額では、大分類すべてがマイナスとなり、「電気機器」、「一般機械」、「化学製品」は弱含み傾向が続いた。世界的な IT 関連製品の需要鈍化が長引いている影響で、「電気機器」は前年比▲10.1%と10ヶ月連続のマイナスとなった。また、アジア地域で景気減速感が強まっていることを受けて、「一般機械」が前年比▲6.5%、「化学製品」が同▲13.9%と両者とも4ヶ月連続で減少した。輸入については、代替燃料の需要増加と価格高止まりを背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+59.3%、輸入数量が同+13.5%と揃って大幅に増加した。

EU向け、アジア向けが弱い

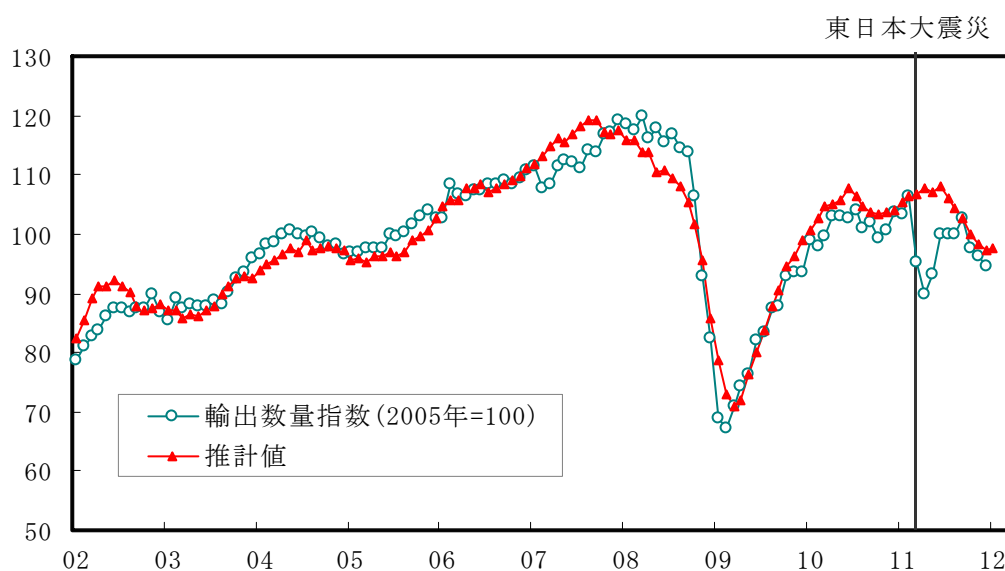
主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+3.9%（11月、同+2.0%）、EU向けが同▲12.7%（11月、同▲4.6%）、アジア向けが同▲11.7%（11月、同▲8.1%）となった。個人消費が底堅く推移している米国向けが2ヶ月連続のプラスとなった一方で、財政問題の緊張が続くEU向けと景気の減速感が顕在化してきたアジア向けが弱含んだ。EU向け「輸送用機器」は、これまで震災からの復元の動きで堅調であったが、前年比▲14.5%と5ヶ月振りのマイナスになった。財政問題に起因する欧州経済の失速によって、EU圏の新車販売台数が減少傾向にあることが背景だと考えられる。なお、タイ向けの輸出金額は、大洪水の影響で前年比▲16.6%と大幅な減少となったものの、マイナス幅は前月（同▲24.0%）より縮小した。

【今後の見通し】輸出は横ばい圏が続く

海外経済減速の影響 に引き続き注意

輸出は、海外経済の減速が重石となり、引き続き横ばい圏で推移すると考える。輸出数量指数は世界景気と為替に基づく当社の推計値に沿った形で調整を進めており、推計値にも下げ止まりの兆しが出始めている。そのため、欧州財政問題が一段と悪化しなければ、底堅く推移している米国経済や金融緩和姿勢を強めている新興国経済が支えとなり、日本の輸出も徐々に持ち直していくとみている。タイの大洪水の影響に関しては、すでに復旧の動きが始まっていることを踏まえると、当社のこれまでの見方どおり輸出全体への影響は深刻化・長期化しないと想定する。また、アジア向け輸出は、年末年始や旧正月「春節」の影響で1～2月の数字が振れやすいため、来月以降に発表される輸出の変動には前もって留意したい。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数



(注1) 輸出数量(推計値) = $-130.80 + 2.63 \times \text{OECD_CLI}[-2] + 0.18 \times \text{OECD_CLI_TR}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2]$ (年)

* 括弧内[]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～11年2月。
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。
OECD_CLI_TRは、トレンド復元ベースのCLI。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。

(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行統計より大和総研作成

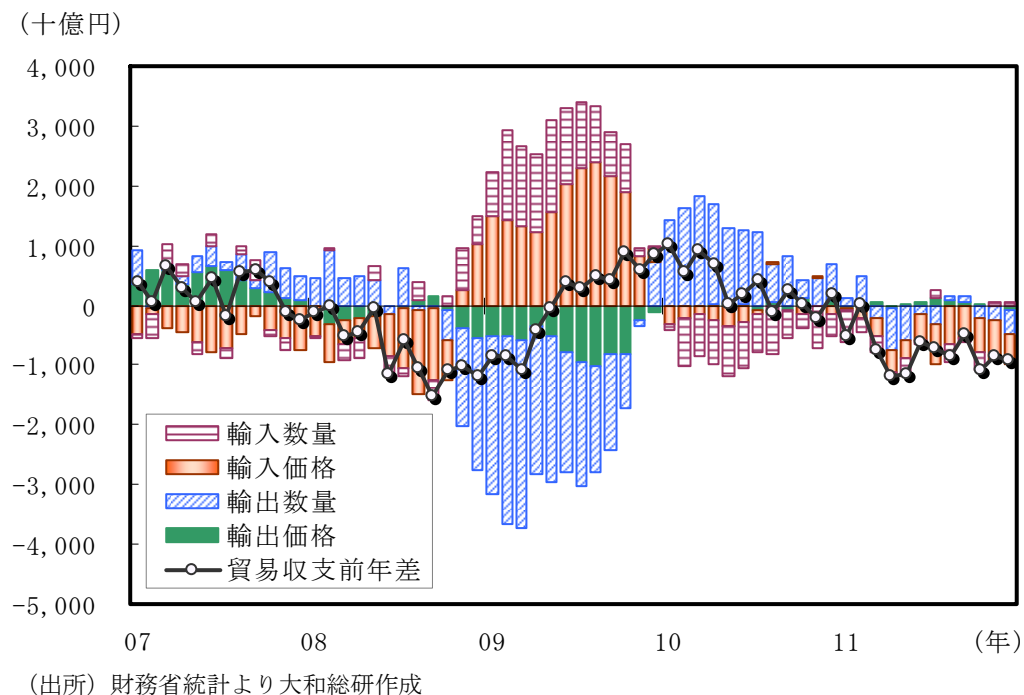
【貿易収支のポイント】輸出サイドが当面の鍵

貿易赤字の改善ペースは緩慢と予想

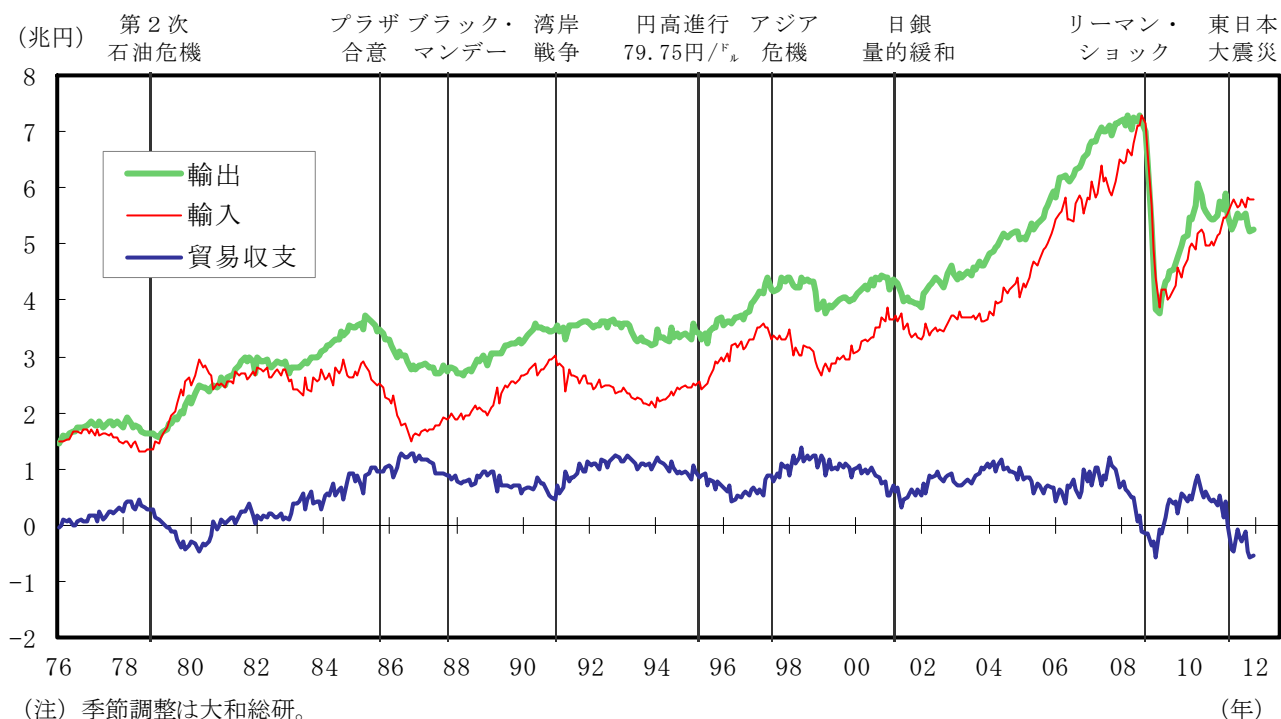
貿易収支の先行きについては、輸入価格の高止まりと海外経済の減速による輸出鈍化を踏まえると、貿易赤字の改善ペースは引き続き緩慢なものに留まると予想する。貿易収支の前年差を要因分析すると、足下では輸入価格要因による押し下げ寄与が大きく、輸出数量要因も弱含み状況が続いていることを確認できる(図表5)。最近、貿易赤字に関して、資源価格の高止まりや代替燃料の需要増など、輸入サイドの問題が注目されることが多くなっている。しかし、震災後に貿易赤字幅が一旦縮小した後に再び赤字幅が拡大したのは、輸出の鈍化によるところが

大きいことから、当社では、貿易赤字脱却の鍵は輸出サイドにあると考えている。また、季節調整値（当社推計）の長期推移をみると、1980 年以降に貿易赤字から脱却した事例が 2 度あったが、いずれも輸出が主導したことが確認できる（図表 6）。

図表 5：貿易収支（前年差）の要因分解



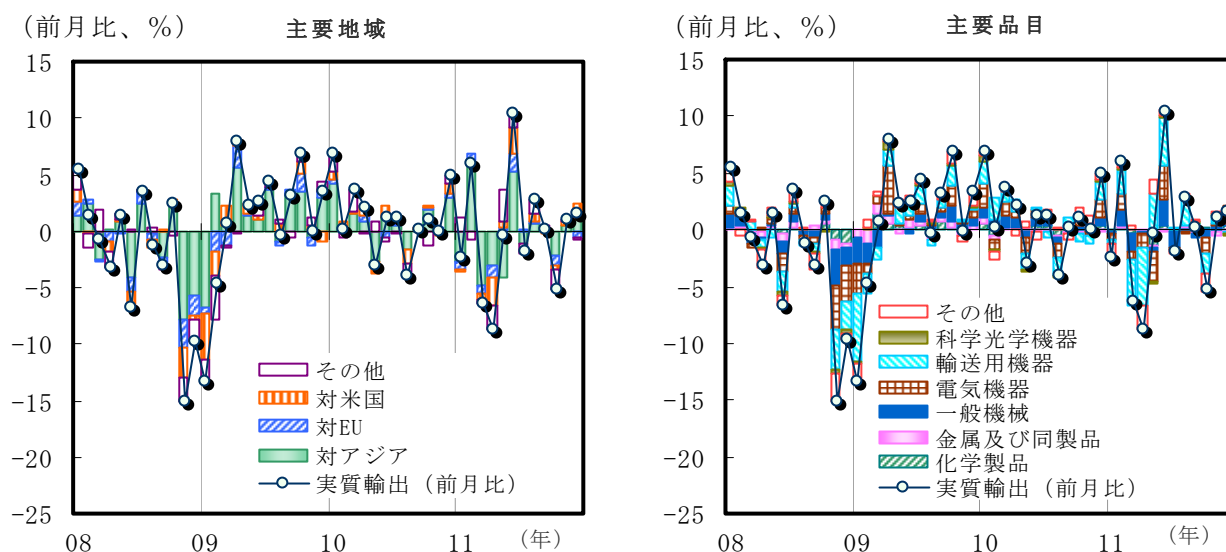
図表 6：貿易の長期推移（季節調整値）



【参考】実質輸出の動向

実質輸出（季節調整値、当社試算）は、前月比+1.6%と2ヶ月連続のプラスとなった。主要国・地域別では、米国向けが前月比+8.9%、EU向けが同▲4.3%、アジア向けが同+1.7%と、米国向けが堅調に推移した。米国向けは個人消費が底堅いことがプラスに作用した一方で、EU向けは財政問題の長期化の影響で弱含んだ。

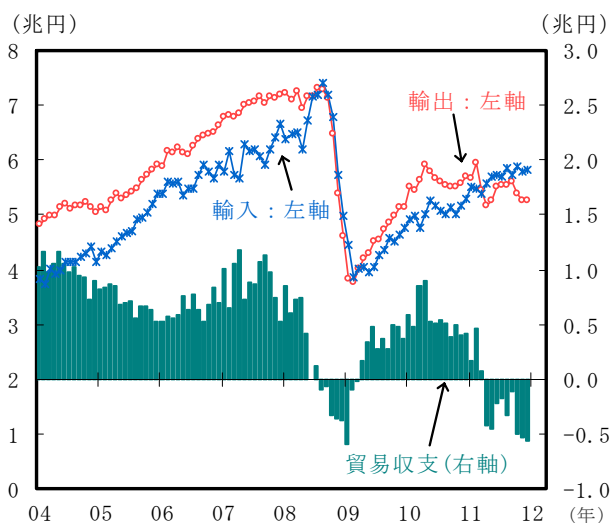
図表7：実質輸出（季節調整済み前月比）の主要項目別の寄与度



概況

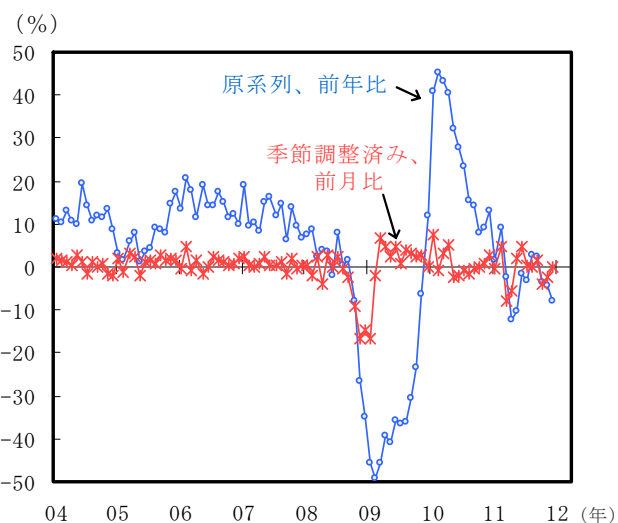
貿易収支の赤字基調が継続

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

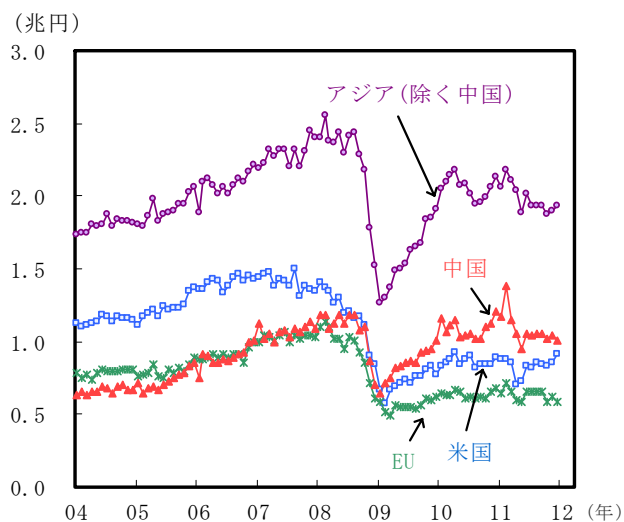


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）



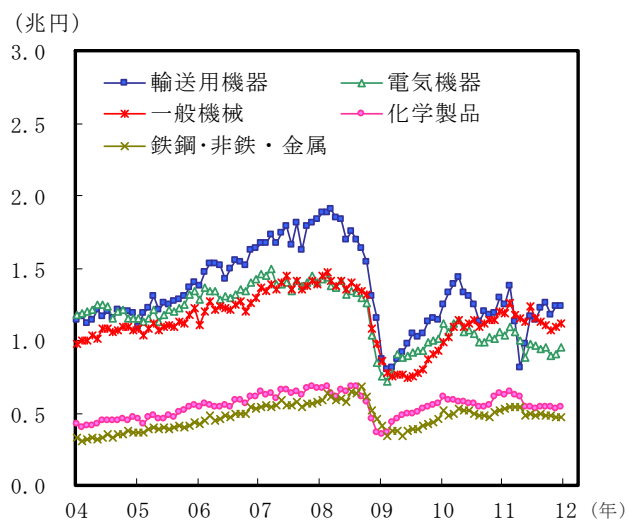
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）



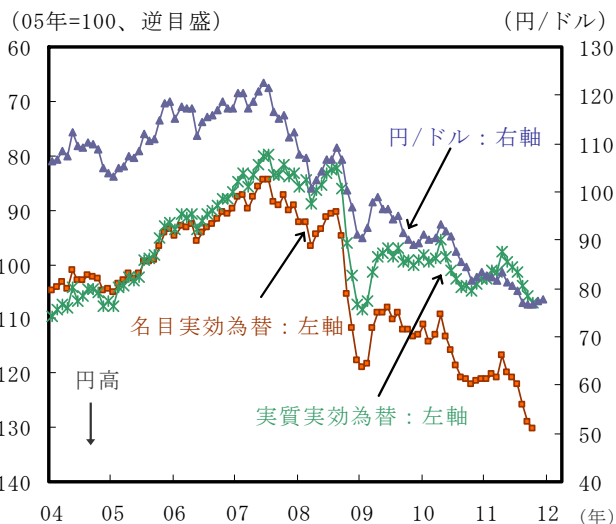
(注) 季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



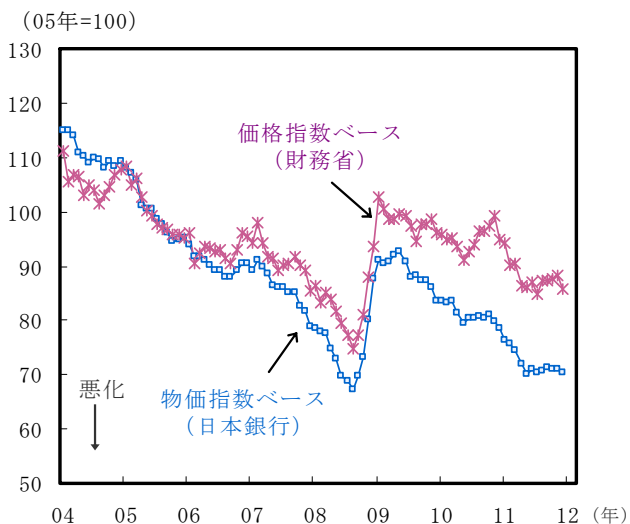
為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件

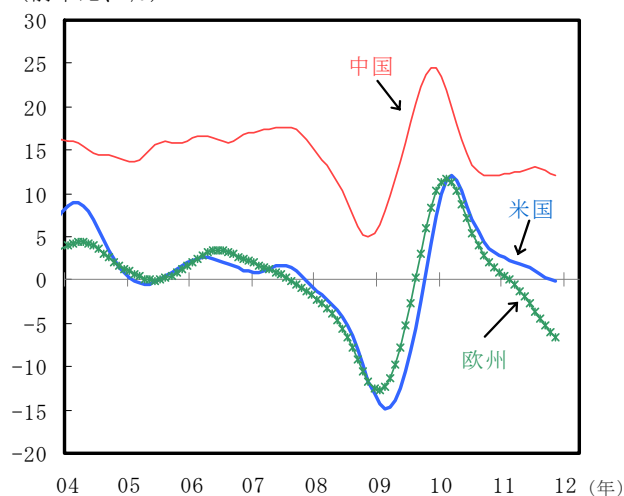


海外環境

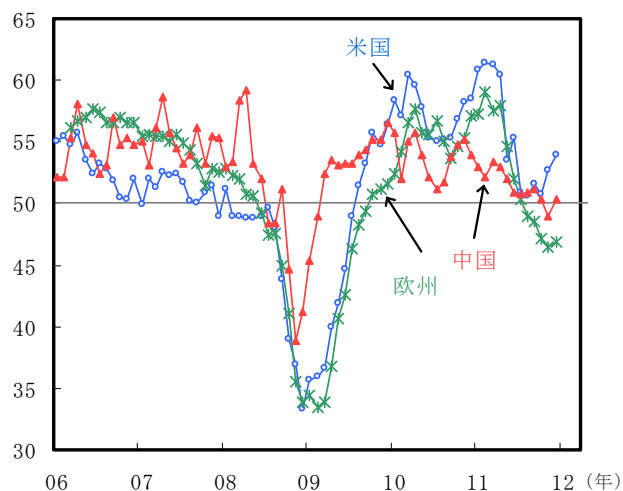
欧州の景気が失速傾向

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

（前年比、%）

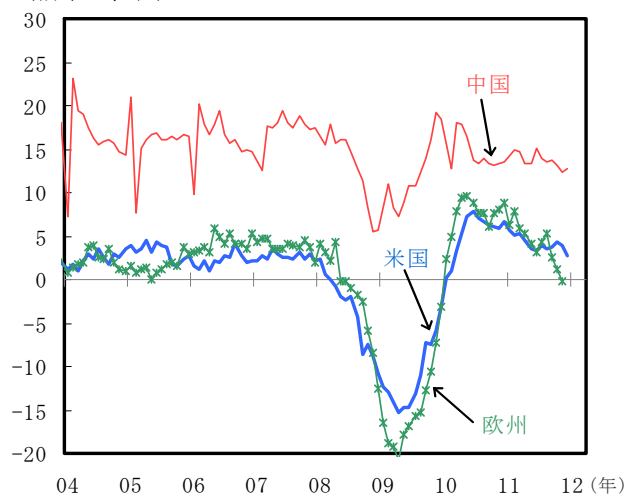


製造業PMI（米国・中国・欧州）



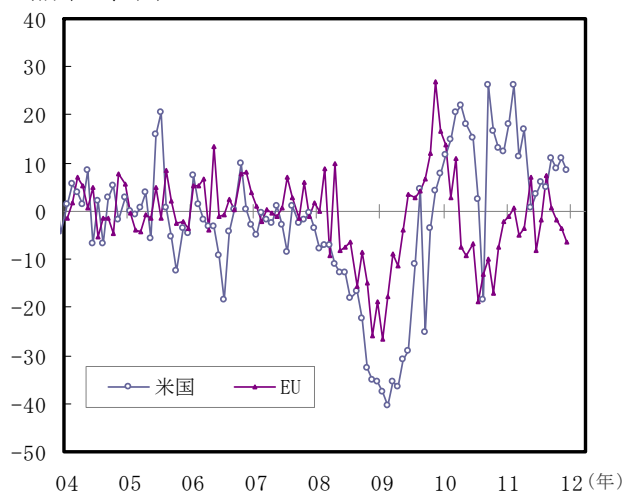
鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

（前年比、%）



米国と欧州の自動車販売

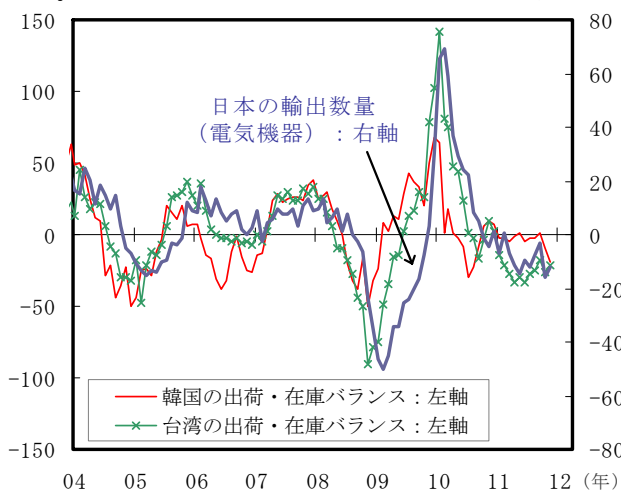
（前年比、%）



（出所）中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会（ACEA）より大和総研作成

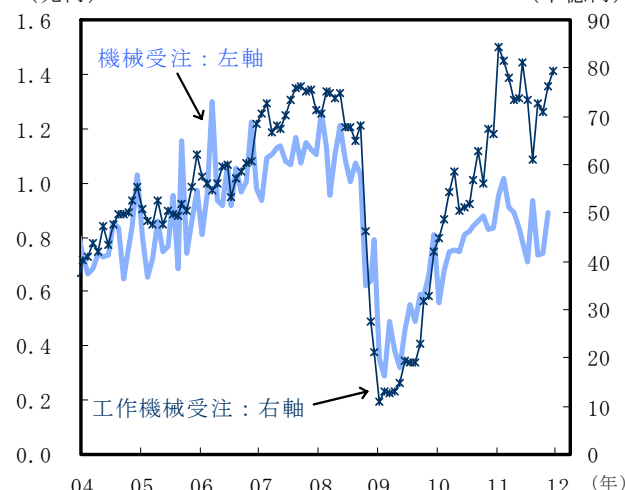
韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）

（%pt）



機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）

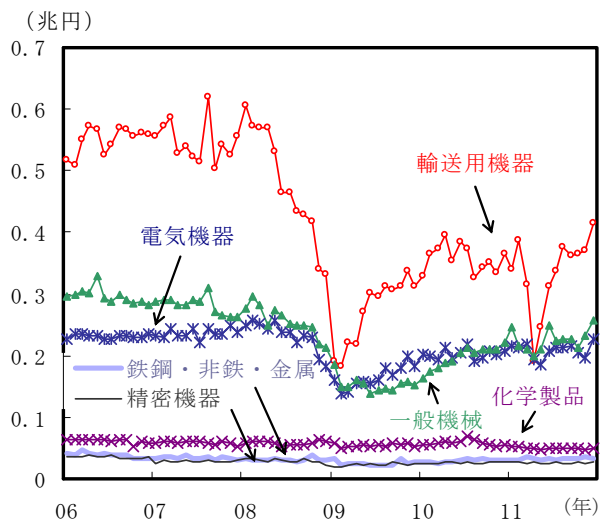
（兆円）



主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)

米国向けが堅調

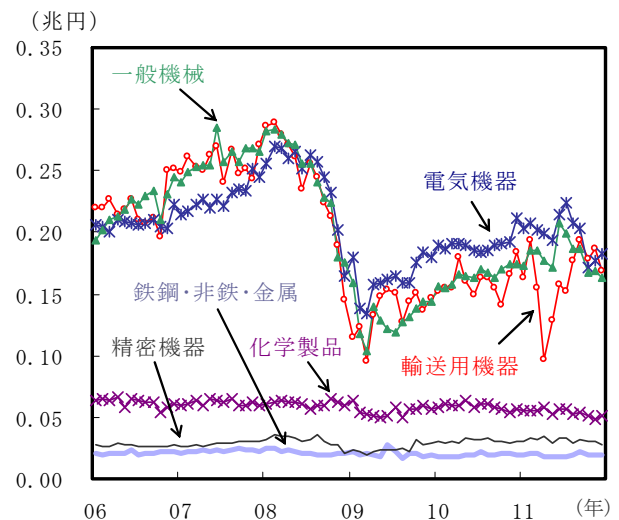
米国向け



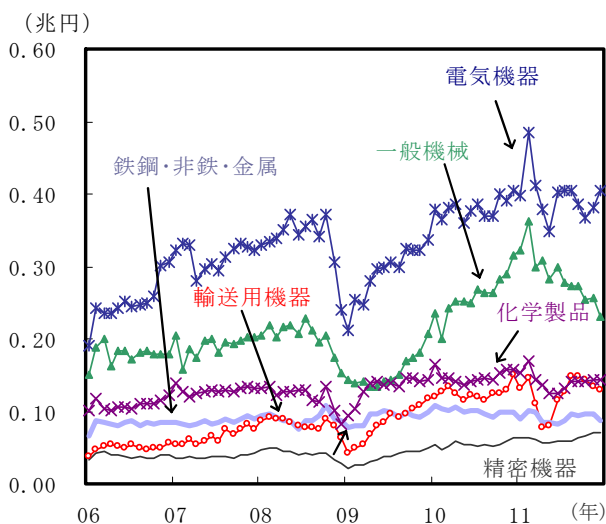
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

EU向け



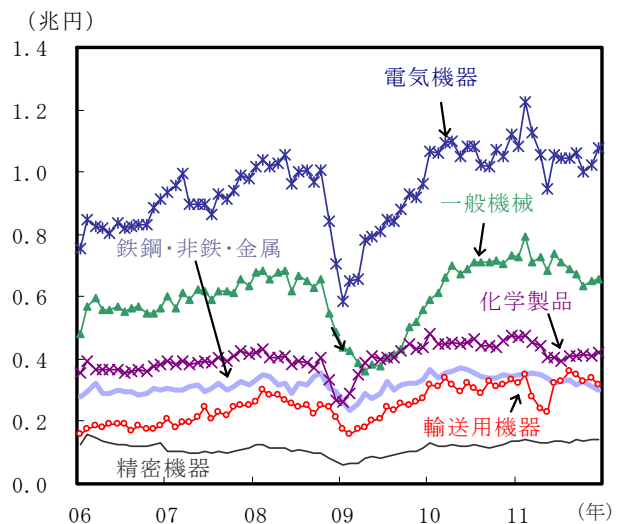
中国向け



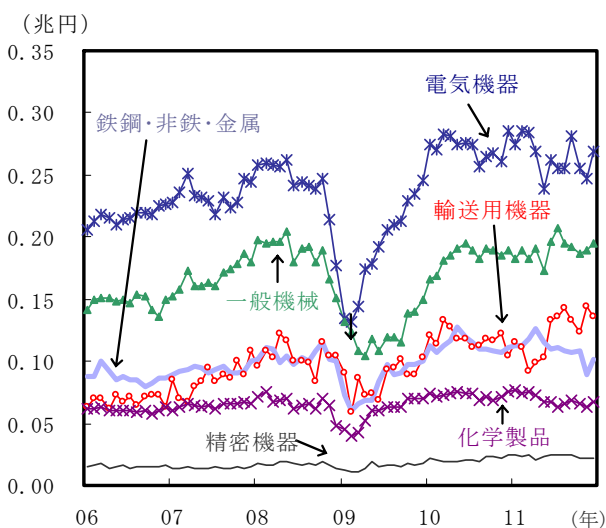
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

アジア向け(中国含む)



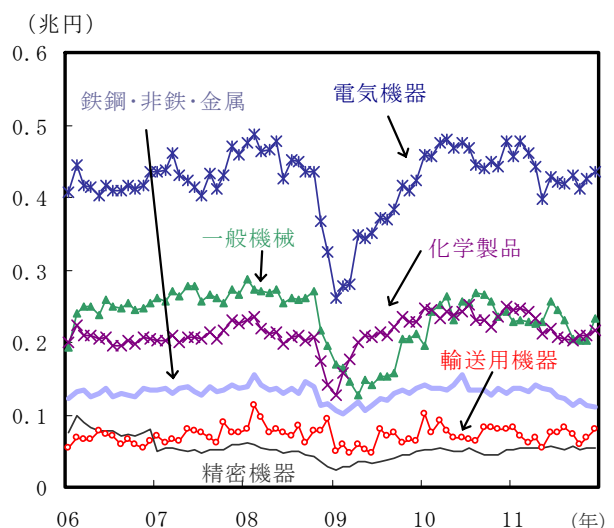
ASEAN向け



(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

NIES向け



輸出金額 内訳								
	2011/07 前年比%	2011/08 前年比%	2011/09 前年比%	2011/10 前年比%	2011/11 前年比%	2011/12		
						前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.4	2.8	2.3	▲3.8	▲4.5	▲8.0	100.0	▲8.0
食料品	▲12.4	▲9.7	▲12.6	▲29.2	▲9.4	▲14.6	0.7	▲0.1
原料品	18.9	11.8	17.0	▲2.6	7.2	▲5.0	1.5	▲0.1
鉱物性燃料	36.1	8.5	8.3	40.3	▲3.1	▲30.3	1.3	▲0.5
化学製品	▲6.5	0.2	▲1.4	▲2.7	▲12.5	▲13.9	9.7	▲1.4
原料別製品	▲1.2	2.2	1.4	▲0.4	▲4.7	▲8.0	12.8	▲1.0
鉄鋼	1.1	1.5	▲4.6	2.5	▲9.2	▲11.4	5.1	▲0.6
非鉄金属	▲1.4	5.4	13.6	▲0.6	▲4.3	▲8.1	1.8	▲0.1
金属製品	▲6.6	0.5	4.5	1.1	1.0	▲4.2	1.6	▲0.1
一般機械	1.3	2.6	▲0.6	▲5.6	▲4.1	▲6.5	21.7	▲1.4
電気機器	▲8.2	▲4.9	▲4.0	▲12.3	▲10.7	▲10.1	17.4	▲1.8
半導体等電子部品	▲15.0	▲16.4	▲9.0	▲20.8	▲15.1	▲13.0	5.2	▲0.7
I C	▲16.7	▲17.3	▲7.6	▲21.8	▲12.4	▲7.8	3.5	▲0.3
映像記録・再生機器	17.6	19.8	▲9.6	▲11.8	▲52.1	▲32.0	0.8	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲22.2	▲16.7	▲17.8	▲27.3	▲20.4	▲23.5	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲10.6	0.3	2.2	▲8.1	▲4.1	▲7.2	2.6	▲0.2
輸送用機器	▲7.9	7.7	5.1	▲0.2	3.9	▲4.2	23.0	▲0.9
自動車	▲3.8	5.3	4.9	6.1	▲0.6	▲4.1	14.6	▲0.6
自動車の部分品	▲4.7	5.2	11.5	0.4	3.5	▲5.5	5.0	▲0.3
その他	▲1.7	8.9	14.2	▲1.9	▲5.5	▲5.9	11.8	▲0.7
科学光学機器	4.8	3.7	15.2	9.2	10.9	▲1.1	3.2	▲0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2011/07 前年比%	2011/08 前年比%	2011/09 前年比%	2011/10 前年比%	2011/11 前年比%	2011/12		
						前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.2	3.5	0.4	▲2.3	2.0	3.9	100.0	3.9
食料品	5.8	3.6	▲10.0	▲5.6	▲8.3	10.8	0.5	0.1
原料品	▲3.3	▲22.3	▲7.2	▲5.0	▲5.9	▲4.3	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	▲29.5	▲36.6	▲91.3	873.3	835.6	▲34.8	0.1	▲0.0
化学製品	▲19.8	▲9.7	▲6.9	▲6.4	▲11.7	▲16.1	5.2	▲1.0
原料別製品	▲5.2	▲0.6	4.6	▲0.6	13.5	3.5	7.3	0.3
鉄鋼	5.0	14.6	13.0	14.0	30.8	14.8	2.0	0.3
非鉄金属	13.1	7.9	2.2	▲10.6	▲4.7	▲8.2	0.7	▲0.1
金属製品	▲14.9	0.2	13.5	12.2	22.7	12.5	1.6	0.2
一般機械	3.3	8.4	4.5	▲1.1	8.4	13.2	25.4	3.1
電気機器	▲10.3	1.5	0.8	▲8.2	▲8.8	1.7	13.8	0.2
半導体等電子部品	▲14.7	▲11.7	9.2	▲14.5	▲11.3	▲4.6	2.0	▲0.1
I C	▲18.7	▲13.1	13.1	▲17.1	▲11.8	▲10.0	1.1	▲0.1
映像記録・再生機器	12.2	25.0	▲4.0	▲19.4	▲58.6	▲34.8	1.0	▲0.5
音響・映像機器の部分品	▲18.2	80.1	▲16.0	▲13.4	▲6.1	▲9.7	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲29.4	▲10.4	▲7.8	▲5.0	8.3	1.9	1.4	0.0
輸送用機器	▲11.5	10.2	0.5	▲1.0	3.4	6.8	38.8	2.6
自動車	▲14.4	15.3	▲4.6	▲0.8	▲0.4	1.9	28.6	0.6
自動車の部分品	▲11.0	▲9.2	15.5	▲7.4	5.3	15.2	7.1	1.0
その他	▲12.1	▲0.2	▲1.5	▲6.7	▲6.2	▲11.8	8.6	▲1.2
科学光学機器	▲7.1	▲5.8	▲0.4	0.8	▲3.9	▲6.5	2.3	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2011/07 前年比%	2011/08 前年比%	2011/09 前年比%	2011/10 前年比%	2011/11 前年比%	2011/12		
						前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.0	6.0	7.1	▲2.9	▲4.6	▲12.7	100.0	▲12.7
食料品	▲1.7	▲19.1	22.5	▲14.4	1.7	8.2	0.2	0.0
原料品	34.9	4.4	81.4	▲9.2	24.8	▲27.6	1.1	▲0.4
鉱物性燃料	▲96.2	▲95.5	▲97.1	▲95.9	▲97.6	▲90.7	0.1	▲0.5
化学製品	4.3	▲3.3	1.3	▲6.2	▲11.8	▲11.7	8.9	▲1.0
原料別製品	1.8	6.8	15.8	0.6	▲2.0	▲6.0	7.8	▲0.4
鉄鋼	▲27.1	▲0.7	4.2	▲8.3	▲22.0	▲31.2	1.0	▲0.4
非鉄金属	28.7	10.7	100.9	▲8.0	15.7	43.8	1.3	0.3
金属製品	▲8.5	5.4	▲1.4	▲1.6	▲0.8	▲13.1	1.5	▲0.2
一般機械	15.0	9.3	11.3	▲4.4	▲5.8	▲9.0	25.8	▲2.2
電気機器	12.7	2.6	▲1.5	▲15.8	▲14.9	▲20.0	17.8	▲3.9
半導体等電子部品	▲5.8	▲21.0	▲28.3	▲33.8	▲24.6	▲29.7	2.4	▲0.9
I C	▲6.4	▲12.6	▲19.9	▲18.2	▲2.5	▲7.7	1.3	▲0.1
映像記録・再生機器	29.8	8.3	▲8.7	▲30.1	▲53.9	▲51.9	1.2	▲1.1
音響・映像機器の部分品	▲11.0	▲42.2	▲47.0	▲52.1	▲32.8	▲35.1	0.5	▲0.2
電気回路等の機器	11.1	10.8	6.3	▲7.2	▲11.9	▲10.7	1.8	▲0.2
輸送用機器	▲9.0	3.6	20.4	21.1	5.9	▲14.5	23.0	▲3.4
自動車	▲5.7	7.4	31.9	25.1	▲13.7	▲20.1	13.5	▲3.0
自動車の部分品	3.4	2.7	9.4	5.4	4.7	2.3	6.8	0.1
その他	15.5	20.3	0.7	▲4.6	4.9	▲6.0	15.3	▲0.9
科学光学機器	3.1	▲16.7	3.2	▲1.2	3.1	▲11.5	3.8	▲0.4

アジア向け輸出金額 内訳								
	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11	2011/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.8	0.3	0.2	▲6.8	▲8.1	▲11.7	100.0	▲11.7
食料品	▲15.3	▲10.7	▲13.6	▲33.2	▲7.9	▲19.5	0.9	▲0.2
原料品	20.3	16.1	11.3	▲2.2	4.9	▲0.7	2.3	▲0.0
鉱物性燃料	49.3	16.1	29.9	20.3	29.9	▲33.6	1.8	▲0.8
化学製品	▲4.6	1.9	0.5	▲1.5	▲13.0	▲15.2	13.3	▲2.1
原料別製品	▲2.2	1.9	0.5	▲2.1	▲9.2	▲13.9	15.6	▲2.2
鉄鋼	▲1.0	▲0.4	▲5.5	▲1.5	▲15.2	▲18.8	6.7	▲1.4
非鉄金属	▲3.8	7.1	11.1	1.6	▲1.7	▲11.7	2.7	▲0.3
金属製品	▲1.9	1.4	5.1	▲0.4	▲5.9	▲8.3	1.8	▲0.1
一般機械	▲1.2	▲4.9	▲8.4	▲13.5	▲10.5	▲13.1	21.2	▲2.8
電気機器	▲10.4	▲6.8	▲3.9	▲12.6	▲10.2	▲10.9	21.8	▲2.4
半導体等電子部品	▲15.9	▲15.8	▲7.9	▲20.3	▲14.3	▲12.0	8.3	▲1.0
I C	▲16.7	▲17.6	▲8.1	▲22.3	▲12.9	▲7.6	5.8	▲0.4
映像記録・再生機器	13.3	22.1	▲15.7	14.7	▲44.3	▲23.2	0.7	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲18.2	▲7.3	10.7	▲14.0	▲18.0	▲22.3	0.7	▲0.2
電気回路等の機器	▲8.4	0.4	4.2	▲9.0	▲4.6	▲7.6	3.7	▲0.3
輸送用機器	4.2	18.1	3.7	▲0.6	▲0.6	▲10.5	9.4	▲1.0
自動車	9.4	13.9	10.1	18.3	8.2	▲10.7	4.1	▲0.4
自動車の部分品	0.9	13.3	13.3	0.7	1.2	▲17.4	3.9	▲0.7
その他	▲4.8	2.7	12.3	▲3.5	▲6.2	▲1.2	13.6	▲0.1
科学光学機器	5.6	7.8	17.7	14.0	13.6	1.6	4.0	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11	2011/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.0	2.4	2.7	▲8.1	▲7.9	▲16.2	100.0	▲16.2
食料品	▲59.3	▲35.8	▲54.0	▲74.5	▲35.8	▲32.3	0.4	▲0.2
原料品	17.4	17.9	10.4	▲1.0	2.9	▲6.0	3.5	▲0.2
鉱物性燃料	▲2.7	▲32.1	▲4.3	11.0	48.7	▲68.6	0.7	▲1.3
化学製品	0.8	7.2	7.4	▲3.1	▲10.7	▲12.7	13.3	▲1.6
原料別製品	▲6.1	3.2	6.6	▲1.3	▲3.2	▲15.2	13.5	▲2.0
鉄鋼	▲6.2	2.8	2.7	▲5.9	▲13.4	▲17.7	4.5	▲0.8
非鉄金属	▲12.7	9.3	18.8	6.5	21.7	▲14.3	2.6	▲0.4
金属製品	▲9.0	3.8	5.2	1.4	▲4.8	▲13.3	1.8	▲0.2
一般機械	1.8	1.5	0.9	▲13.4	▲14.1	▲28.4	21.0	▲7.0
電気機器	▲2.4	▲0.1	▲3.6	▲14.6	▲9.8	▲7.8	24.2	▲1.7
半導体等電子部品	0.2	▲7.1	▲1.3	▲21.8	▲6.6	8.0	9.5	0.6
I C	4.0	▲7.0	2.3	▲25.1	▲6.7	14.9	7.0	0.8
映像記録・再生機器	▲1.4	24.4	▲30.4	29.1	▲52.9	▲15.2	1.0	▲0.2
音響・映像機器の部分品	1.1	19.1	29.0	▲1.4	▲14.7	▲17.3	0.9	▲0.2
電気回路等の機器	▲10.5	▲0.2	▲2.2	▲8.7	▲2.9	▲14.1	3.9	▲0.5
輸送用機器	3.8	21.0	13.1	10.7	▲2.5	▲19.0	10.8	▲2.1
自動車	▲2.0	14.7	7.7	13.9	▲8.5	▲23.4	4.7	▲1.2
自動車の部分品	8.8	23.6	15.6	6.5	3.2	▲16.2	5.8	▲0.9
その他	▲5.9	▲7.2	1.3	▲12.7	▲4.1	▲1.1	12.7	▲0.1
科学光学機器	9.0	5.7	21.4	21.3	18.1	7.5	5.7	0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成